

# 南極の暮らしって？

太陽が一日中沈まない夏、ブリザードが吹き荒れる冬——、  
厳しい自然環境の下、水や燃料、食べられる物も限られ、娯楽や外出もま  
まならない。そんな制限づくしの南極で、南極地域観測隊は一体どのよ  
うに過ごしているのでしょうか…。越冬隊員の馬場が案内します！

## 一人部屋で想像以上に快適？

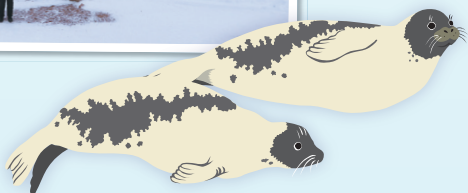
気象庁の馬場が越冬隊として1年2カ  
月弱を過ごした昭和基地。基地といえば狭  
いと思いきや…

「越冬隊の生活の場は居住棟と管理棟  
があり、第56次越冬隊員は26名いましたが、  
居住棟では一人一部屋が割り当てられてい  
ました。なかなか快適ですが、観測ばかり  
でほとんど寝に帰る感じです。休憩時間  
は管理棟の食堂やサロンなどでみんなと過  
ごすことが多かったです」

南極での生活水は雪  
を溶かしたもので節  
水は必須ですが、入浴や  
洗濯も可能。トイレも水  
洗ですが、微生物で分解  
する他、焼却し、炭にし  
て日本に持ち帰ります。  
南極で出した廃棄物は  
全て持ち帰ることが基  
本なのです。

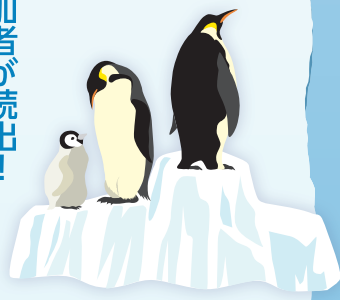


氷上でのドッジボール大会や、イベント係が企画する花見、こどもの日など、季節の行事は盛りだくさん。  
馬場の誕生日はなんと奥様レシピのハンバーグ。この日のために調理隊員があらかじめ奥様に聞いておいたとのこと。「このサプライズには涙が出そうになりました」(馬場談)。



## 体重増加者が続出！ 美味なる「南極めし」

制限ある南極生活での楽しみの一つが、やはり食事です。食事はプロの調理人が作るので「おいしい」と大好評。気温が低く、労働でエネルギーを消費することから一人一日4000kcalを想定して食材を持ち込んでいるため、量は常にたっぷりと振る舞われます。そのため、うっかり食べ過ぎて太って帰る隊員も多いとか。そんな恵まれた食生活でも渴望されているのが、甘いも



南極の地での新鮮な野菜は貴重！収穫を祝って記念撮影

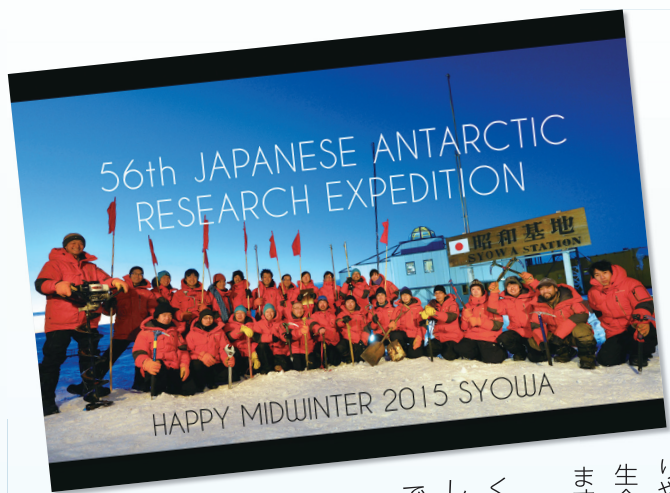


のごお酒、生卵、そして生野菜です。

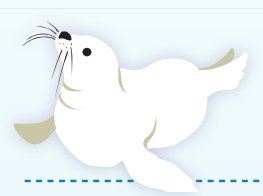
「隊員数名が「農協係」になつて屋内で水菜やサンチュなどを育てています。苦労してようやく数個だけできた初物のイチゴをいただいたときには、羨望のまなざしが痛いほどでした(笑)」



南極地域観測隊



56次隊のミッドウインターフェスティバル用のグリーティングカードはピッケルやルート旗などの道具を持って全員での記念撮影。各国の基地は数百kmと離れているのでメールで送りあう。



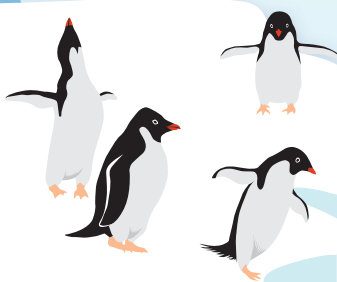
「実は、滞在中に子どもが生まれ、たくさんの方にお祝いをしていただきました。出産に立ち会えなかったのは残念ですが、とてもいい記念になりました」

また、隊員も「暮らし」を快適にするために、任務とは別のさまざまな係につきま。前述した係以外に、入れたてのコーヒーや

また、隊員も「暮らし」を快適にするために、任務とは別のさまざまな係につきま。前述した係以外に、入れたてのコーヒーや



基地滞在中に生まれた馬場のお七君を隊員総出でお祝い



基地内を盛り上げる「イベント」の数々

当然ながら、娯楽施設はゼロである南極。天候が荒れば外にも出られません。そんな単調な生活の鬱々を吹き飛ばすため隊員たちによる企画が開催されます。中でも6月の冬至のころ、太陽の出ない「極夜」期間に行う「ミッドウインター祭」は大掛かりで、南極にある各国の基地が同時期に開催し、さまざまなイベントで盛り上がりま

す。隣の基地まで数百km離れているので行き来することはできませんが、各国の基地はお互いにグリーティングカードを交換します。その他、日本の四季を感じるひな祭りや七夕などの行事、「イベント係」が誕生会や球技大会を企画することもあります。



氷上を削って行う「もっとも寒い(でも南極にとっては暑い時期)流しぞうめん大会」

夏隊はまるで体育会系の合宿!?

夏隊の南極生活は越冬隊に比べるとやや過酷。

宿舎は越冬隊の居住棟から徒歩10分程度場所があり、2段ベッドの相部屋で荷物の置き場所にも苦労するほど狭く、他には共有スペース、洗濯物干場となるシンプルなつくりです。

「船酔いで大変でしたが住居としては『しらせ』の方が快適でした。夏隊は体育会系の合宿みたいな雰囲気でしたね」(住吉)

「短い南極滞在期間に観測などやるべき事が多く、なかなか越冬隊と交流する機会が持てなかったのが、週2回開放する管理棟のバーに出かけるのがとても楽しみでした」(下野)



暮らしを支える設営隊員 彩りを与える生活係

こうした快適な生活を支えているのは、隊員の約半数を占める「設営」の隊員。生活に必要な不可欠な発電や通信、野外観測支援などのエキスパートです。「設営担当が支えてくれるからこそ、観測担当は仕事ができる。その感謝は常にありました」

スイーツを振る舞う「喫茶係」、映画を上映する「シアター係」、隊員の髪を整える「理髪係」などもあります。唯一全員が担当するのが「新聞係」で、毎週一人ずつその週の出来事などをまとめて貼り出します。「本棚には各年の新聞が保管されており、どれも人間味があふれていて親しみを感じました。私たちがつづけた新聞もその中に加わると思うと、仕事とはまた別の感慨があります」